

平成30年度 上田市立清明小学校 自己評価シート(総合報告)

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価						
「清く明るく 豊かな心で 進んで学ぶ 子どもの育成」 ・心も体もたくましい子ども ・友だちに親切にできる子ども ・しっかり学習できる子ども	①自主:豊かなかわりやさまざまな体験を通して、自分で気づき、よく考えて自らたくましく行動できる子ども ②豊かさ:お互いに認め合う中で自分に自信を持ち、友との関わり合いを大切に、共に学習や生活を楽しむことができる子ども ③学び:自ら見つけた課題を、友と考えをつなぎながらめ合いながら追究し、学びの楽しさや高まりを実感できる子ども	・学校生活でお互い声をかけ合って、清明の決まり等、約束事を守ろうとし、がんばる姿が多く見られました。 ・児童会活動や係活動の充実により、責任をもって活動する姿が多く見られました。靴そろえの意識は全校で高まっています。 ・ふるさと学習(総合・生活科)では、既習の事項や、経験をもとに、友だちや地域の方とふれあい、できることや工夫することをそれぞれが考えながら学習を進めることができました。友達同士の関わり合うよさや、認め合うことのよさが随所に見られました。 ・授業や様々な活動を最後までがんばる姿が見られ、喜び合うことができました。友だちの意見を聞いて分かったという姿が多く見られた。今後はさらに話し合い活動や振り返りの場面に力を入れ、自分の高まりを感じられるように努めていきます。						
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策	
	1	高みを目指し、自ら粘り強く取り組む子どもを育みます(自主)	様々な活動に最後まであきらめずに取り組む子どもが育ってきていると思います。さらに全校体制で取り組みます。	○				児童会活動・係活動・清掃活動など、課題を持って取り組み主体的な活動を目指します。よさを褒め、自己肯定感を子どもたちの自主性の伸長に努めます。
	2	挨拶を響き合わせ、自他を大切にする思いやりのある子どもを育みます(豊かさ)	児童会の挨拶活動の継続で、全校の挨拶への意識が高まりました。心の教育をさらに推進します。		○			児童会活動を中心に、気持ちのよい挨拶が交わされる学校を目指します。清みなかよし宣言を常に意識した学習を進めていきます。
3	友とともに学ぶ楽しさを実感できる子どもを育みます(学び)	異学年交流や授業でのグループ学習を盛んに行い、楽しんで学ぶことができていると感じます。さらに場の工夫を行います。	○				学習問題、学習課題を明確にした授業を今後も継続し、よりよい授業を目指していきます。学び合いと振り返りを重視し、学ぶよさを感じられることを大切に取り組んでいきます。	

対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
1 自主	「ふるさと学習」の推進	「ふるさと学習」を通して、探究する楽しさを体験させながら、粘り強く追究する意識を育て、やり遂げた成果に自信を持たせたか。	学区内または上田市をフィールドとして学習を展開することができました。学級間よりの取り組みの差があり、相互にの連携を進めていきます。		○			学級相互の連携を大切に、地域とのつながりを深めるふるさと学習を学級の核活動に据えての取り組みを進めます。途中での振り返りやまとめの発表を重視して進めていきます。
	児童会活動、係活動、朝マラソン、靴揃えなどへの取り組み	自分から進んで、児童会活動や係活動、朝マラソンや靴揃えに取り組めるよう工夫して指導することができたか。	すべての委員会で挨拶を大切に活動できました。靴そろえへの意識も高いです。マラソンは個人差が大きいのでカード等の工夫を考えていきます。	○				児童会を中心とした呼びかけを今後も継続していきます。日常的に個々の目標設定を工夫し、振り返りを大切にして、自主的に行う意識の向上を目指します。
	成功経験の累積	困難にぶつかったとき、仲間とともに解決していける適切な支援を繰り返しながら、乗り越える成功経験を積ませたか。	学年での活動、異学年での交流で、友達と協力する姿がたくさん見られました。行事や授業での成功体験を大切に振り返っています。	○				授業や行事の中で、一人一人の子どもたちが、できた喜びややり遂げた達成感を自覚できるように支援していきます。学年学級での連携をさらに進めます。
2 重点目標 豊かさ	挨拶の充実	日常的な声がけや、児童会活動の充実により、挨拶の良さを自覚させながら、実践と評価を繰り返し、積極的に挨拶が飛び交う学校を目指したか。	挨拶への意識は高まっていますが、個人差も大きいと感じています。気持ちのよい挨拶、返事について、日常的に指導を繰り返していきます。		○			学級や児童会の活動で重点的に指導を繰り返していきます。挨拶が響く学校を目指し「おはようございます」「こんにちは」が増えるよう進めていきます。校外においては不審者対策も考えます。
	人権同和教育の日常化	一人一人を大切に、違いを認め合い、共に学びあうよさが実感できる人権同和教育を日常化したか。	学級の中で一人一人の良さを見つけ、お互いに認め合うことができました。個人差に対応した指導の工夫をさらに進めていきます。		○			日常での人権意識を大切に、いじめや差別を許さない姿勢を学校全体で整えます。配慮を要する児童への関わり方について職員間で共有し、よりよい指導・支援の方向を考えていきます。
	思いやりの心の育成	児童を肯定的に捉え、温かい言動で接しながら、思いやりの心が全体に広がるように取り組めたか。	頑張っている友達を褒める言葉が多く聞かれるようになり、優しい気持ちで接することができる子が多いです。意見を伝え合うことを大切にしています。	○				学級の間関係づくりを大切に、温かい学級づくり、温かい言動を習慣化していきたいです。いじめを見逃さないこと、一人一人の様子をつかむことに心がけ、児童の指導・支援に当たります。
	研修を生かした実践	特別支援教育の研修や、児童理解の研修を全職員で積み重ね、研修を生かした実践に取り組めたか。	特別支援教育を中心に、職員会議の中で児童の様子を共有を位置づけ、指導・支援の方向を確認することができました。さらに深い研修を目指します。		○			各種多様な研修を年間で計画し、専門的な知識・技能を高めていきたいと考えています。また、職員の専門性を生かして、相互に学び合う日常的な職員研修を大切にしています。
3 学び	学習習慣の形成	腰背を立て、目・耳・心で話を聴き合う、学習習慣と姿勢づくりを進めることができたか。	聞く態度の育成に力を入れてきました。しっかりと聞ける子が増えています。しかし個人差も大きいので、日常的な聞く態度・姿勢の指導を工夫します。		○			よりよい学習習慣の形成を日常的に進め、聞き合える学級づくりを目指します。姿勢が崩れがちな児童に体力、筋力の面からも支援をします。
	学習課題の共有	学習課題を共有し、課題解決に向けて、友の考えを聞き自分の考えが伝わるように話す場面を授業の中に設定したか。	自分の考えを持って学習が進められる子が増えてきたと思います。学習問題、学習課題の明確化を意識した授業展開を心がけることができました。		○			よりよい学習課題及び振り返り(深い学び)について、教員同士で授業研究、研修を重ねていきたいと思います。授業を見合うことを大切にし、授業後の情報交換の場を設定し、授業力を高めます。
	話し合い活動の充実	ペア学習や小グループによるテーマ追究の話し合い活動を設け、共に学ぶ楽しさに触れさせながら、ともに考えを練り上げ、高める力を育むことを通して、学力向上に努めたか。	ペア学習・グループ学習や全体追究の場での話し合い活動を多く取り入れ、自分の考えと友達の考えを比べて考え合うことができました。さらに振り返りを充実させ追究力を高めていきたいです。	○				学習場面の設定を多様に、自分で探究できる力をつけていきたい。自分の考えを持つこと、考えを伝え合い、高め合う学習を進め、主体的な態度の育成を目指します。考えを深め合う学び方を身につけさせていくための授業展開をさらに研究していきます。

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった